

科目名		授業形態	担当教員名	
薬理学・歯科薬理学		講義	大石 美恵	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
薬物の性質、薬理作用、作用機序および副作用を理解するために、疾病の回復を促進する薬に関する基本的知識を習得することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 医療と薬物について説明できる。 2. 身体と薬物について説明できる。 3. 医薬品の分類を説明できる。 4. 薬物の取り扱いを説明できる。		5. 主な薬の薬理作用, 作用機序, 副作用を説明できる。 6. 歯・歯髄疾患と薬について説明できる。 7. 歯周疾患と薬について説明できる。 8. 服薬に関する一般的事項を説明できる。		
授業計画				
回	内容			
1	総論1 薬物の作用 薬物動態			
2	総論2 薬物の適用方法の種類と特徴 薬物の作用に影響を与える要因 薬物の副作用、有害作用			
3	総論3 医薬品を適用する際の注意 薬物の取り扱い 薬物と法律・薬物と医薬品			
4	各論1 ビタミンとホルモン 末梢神経系に作用する薬物			
5	各論2 中枢神経系に作用する薬物			
6	各論3 循環器系に作用する薬物 腎臓に作用する薬物 呼吸器系に作用する薬物			
7	各論4 消化器系に作用する薬物 血液に作用する薬物 免疫と薬物			
8	各論5 悪性腫瘍と薬物 代謝性疾患治療薬			
9	各論6 炎症と薬物 痛みと薬物 局所麻酔薬			
10	各論7 抗感染症薬 消毒に使用する薬物			
11	各論8 う蝕予防薬 歯内療法薬 歯周疾患治療薬			
12	各論9 顎口腔粘膜疾患と薬物 和漢薬			
13	その他の疾患1 皮膚障害 視覚障害 水分/電解質/カロリー			
14	その他の疾患2 性・生殖機能障害 泌尿器・生殖腺機能障害			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	薬の基礎的な知識、主な疾病の回復を促進する薬に関する基本的理解を評価する。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学		全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社	
自由記載	予習・復習することを望みます。			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
リハベージック 薬理学・臨床薬理学		内山靖・藤井浩美 他	医歯薬出版株式会社	
ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進② 臨床薬理学		赤瀬智子・柳田俊彦	メディカ出版	
自由記載				
備考				